宮古島市と国立大学法人琉球大学及び公立大学法人名桜大学による地域における雇用創出・若者定着に係る協定書

宮古島市（以下「甲」という）と国立大学法人琉球大学（以下「乙」という）及び公立大学法人名桜大学（以下「丙」という）は、宮古島市における雇用創出・若者定着の推進を図るため、次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第１条　平成２７年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（ＣＯＣ+）」に採択された乙及び丙のプログラム「新たな地域社会を創造する『未来叶い（ミライカナイ）』プロジェクト」事業（以下「ＣＯＣ+事業」という）及び甲の「宮古島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という）の推進のため、宮古島市における雇用創出・若者定着に関する目標を定め、その達成を図ることを目的とする。

（目標）

第２条　総合戦略における雇用創出・若者定着に係る主な目標は、平成３１年における就業者数 23,300 人、人材育成プログラム等を活用した新規雇用者数３００人である。この全体の目標に関して、甲、乙、丙が第６条に定められた期間内において、前条に掲げた達成すべき目標は、以下のとおりとする。

（１）人材育成プログラム等を活用した就業機会の創出と雇用確保に取り組み、平成２６年度基準値である２３９人から平成３１年度に３００人（目標値）へ増加させる。

（２）小さな拠点づくりとして、乙及び丙の学生のアイディアを活用した検討などに取り組み、平成２６年度基準値である０地域から平成３１年度に２地域へ増加させる。

２　ＣＯＣ+事業における数値目標は、事業協働地域就職率１０ポイント増（乙及び丙の事業協働地域での就職者数１３２人増）、事業協働機関雇用創出数（以下「ＣＯＣ+雇用創出数」という）１８人である。この全体の目標に関して、甲、乙、丙が第６条に定められた期間内において、前条に掲げた達成すべき目標は、以下のとおりとする。

（１）事業協働地域就職率１０ポイント増に向けて、前項（１）において、乙及び丙の新規卒業生による就職者数を１名以上とすることを目標とする。

（２）ＣＯＣ+雇用創出数１８人に向けて、前項（１）において、ＣＯＣ+雇用創出数を１名以上とすることを目標とする。

（連携する内容）

第３条　第１条に掲げた目的を達成するため、甲、乙、丙は以下の取組を連携して実施する。

（１）既存産業の活性化、新産業の創出に向けた取組に関すること。

（２）環境・エネルギー分野における雇用・交流の促進に関すること。

（３）地域コミュニティを維持し、持続可能な地域づくりを目指す取組に関すること。

（４）その他、目標を達成するために、甲、乙、丙が一致して必要と認める取組に関すること。

２　前条の取組を進めるにあたっての必要な方策等は、甲、乙、丙による協議の上、決定する。

（検証）

第４条　甲、乙、丙は、前条に掲げられた取組の実施後に成果検証委員会を設置し、第２条に掲げた目標に対する成果を検証し、必要に応じて取組の改善を行う。

（意見交換）

第５条　甲、乙、丙は、この協定の目的を達成するため、必要に応じて意見交換を行う。

（有効期間）

第６条　この協定は、締結の日から効力を有し、平成３２年３月３１日までとする。

（その他）

第７条　この協定に定めのない事項又はこの協定に疑義が生じた事項は、甲、乙、丙の３者による協議の上、決定する。

この協定の締結を証するため、本協定書を３通作成し、甲、乙、丙それぞれ署名押印の上、各自１通を保有する。

平成２８年１０月３１日

（甲）　沖縄県宮古島市平良字西里１８６番地
宮古島市
市長
乙 也 敏 彦　宮古島市長印

（乙）　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
国立大学法人琉球大学
学長
大 城 肇　国立大学法人琉球大学之印

（丙）　沖縄県名護市字為又１２２０－１
公立大学法人名桜大学
学長
山 里 勝 己　名桜大学長之印